

# 口永良部島の噴火に係る関係省庁災害対策会議(第2回)

## 議 事 次 第

日時：平成27年5月29日(金) 16:00目途～

場所：合同庁舎8号館3階 災害対策本部会議室

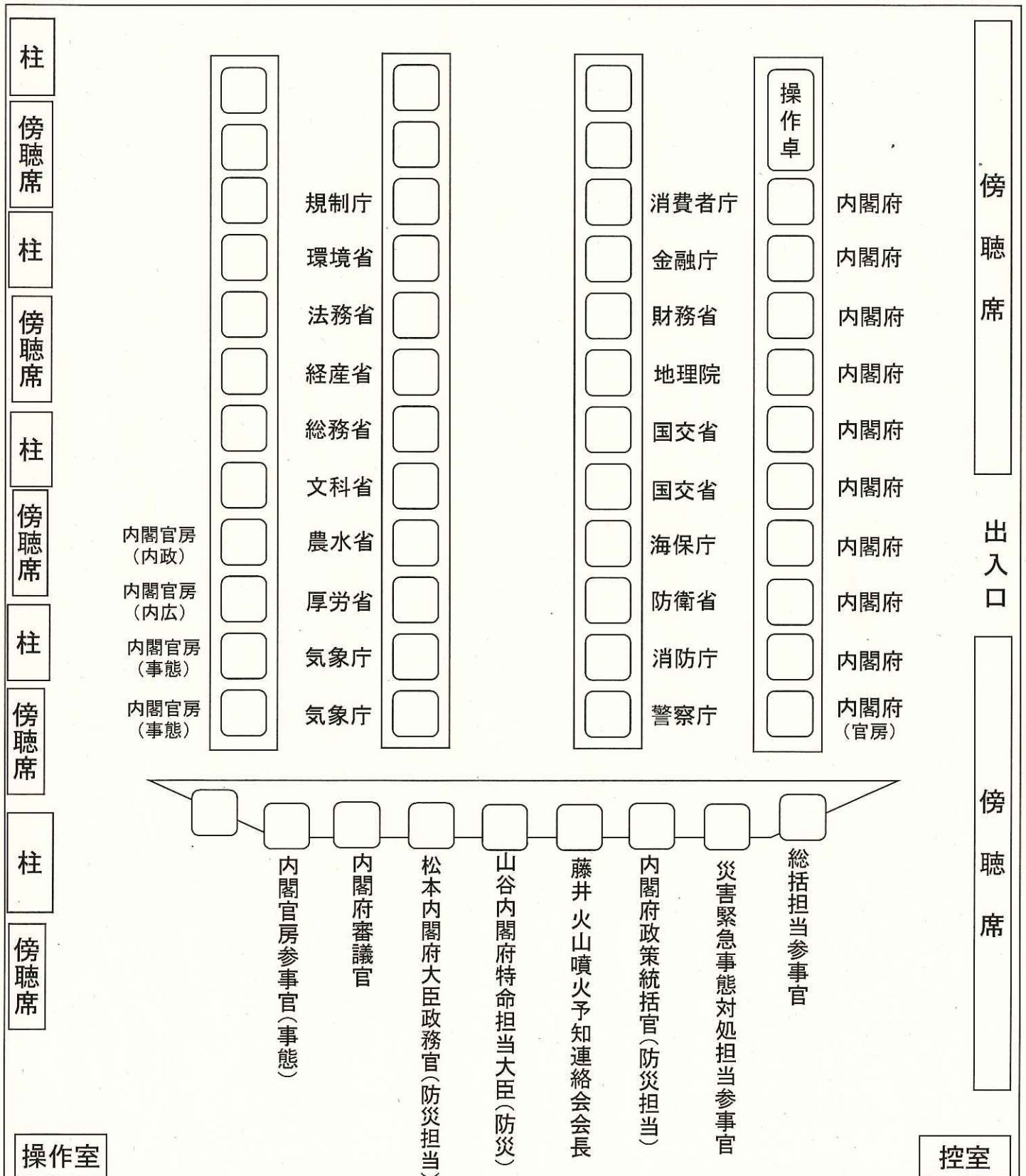
1. 山谷内閣府特命担当大臣(防災)挨拶
2. 鹿児島県知事とのテレビ会議(鹿児島県庁)
3. 今後の火山活動の見通し
4. 各省庁の対応状況
5. その他

# 口永良部島の噴火に係る関係省庁災害対策会議(第2回)

## 配席図

平成27年5月29日(金)16:00目途～

中央合同庁舎第8号館3階 災害対策本部会議室



# ①気象庁

報道発表資料  
平成27年5月29日  
気象庁

## 5月29日に発生した<sup>くちのえらぶじま</sup>口永良部島の爆発的噴火について —口永良部島に噴火警戒レベル5（避難）の特別警報を発表—

本日（29日）10時07分に口永良部島に噴火警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から5（避難）に引き上げました。

口永良部島（鹿児島県屋久島町）では、本日（29日）09時59分に新岳で爆発的噴火が発生し、火砕流が新岳の南西側から北西側（向江浜地区）にかけての海岸まで達しました。噴煙は火口縁上9000メートル以上まで上がり、火口周辺に噴石が飛散しました。

今後も、爆発力が強い噴火や規模の大きな噴火が発生する可能性があります。

火砕流の到達が予想される屋久島町口永良部島居住地域では厳重な警戒（避難等の対応）をしてください。  
屋久島町の避難等の指示に従ってください。

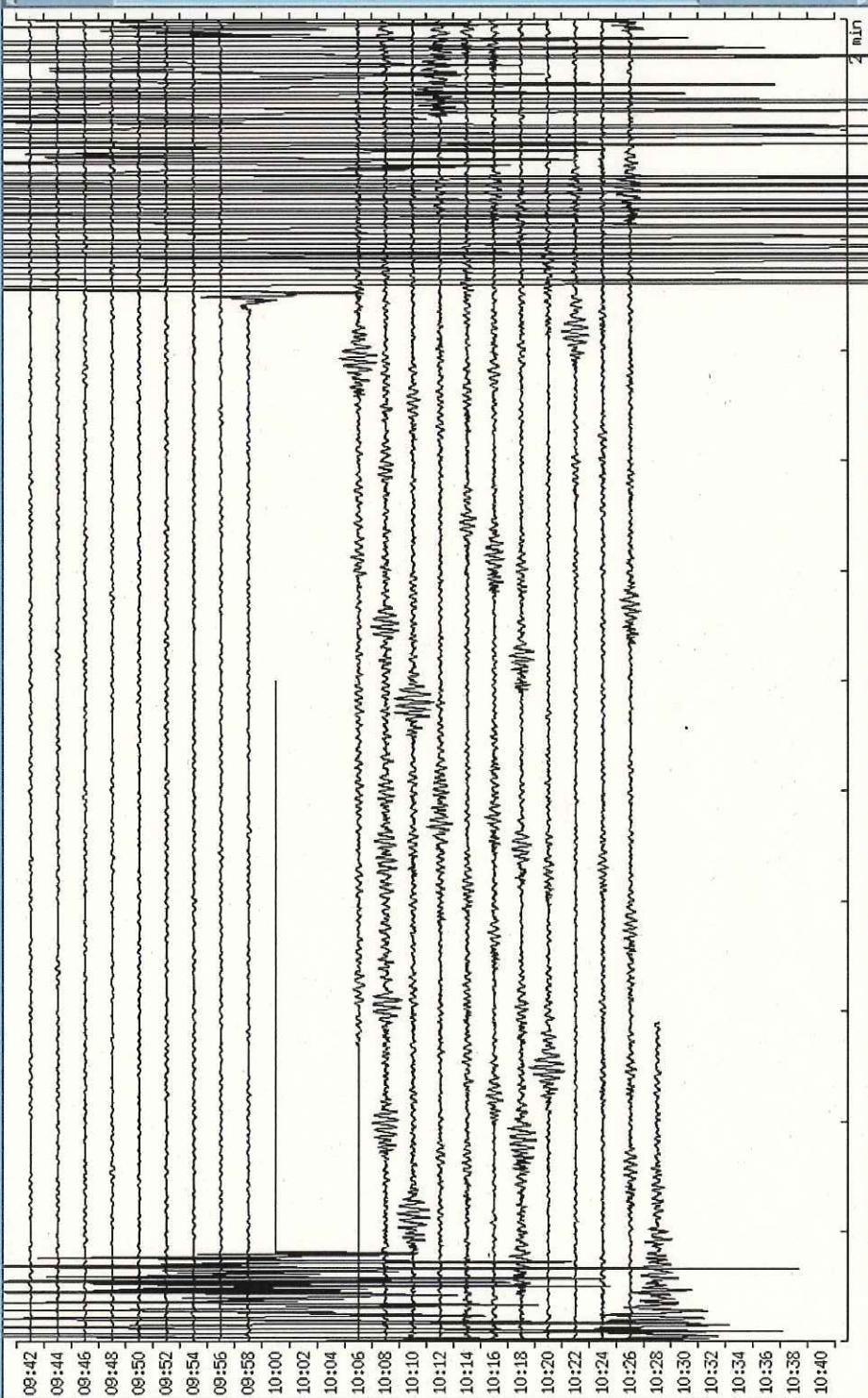
噴火警戒レベル5（避難）を発表したのは、平成19年12月の噴火警戒レベルの運用開始後初めてです。

本件担当 地震火山部火山課

03-3212-8341（内線4528）

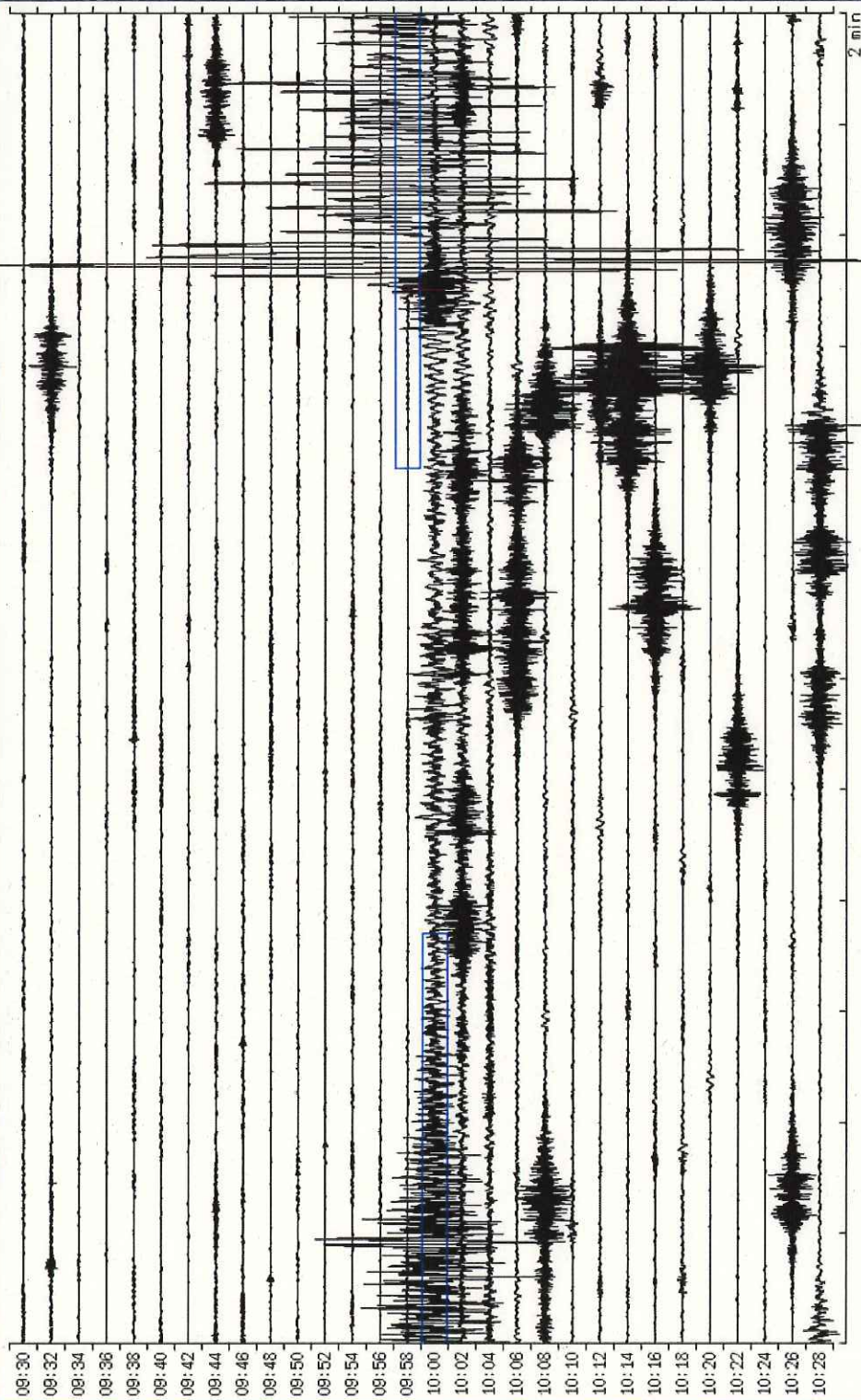
検測モニター ofhov2k01 (vovsv2k02) vohov2k02 2015/05/29 10:05:42 [東京]

ファイル 表示 パラメータ 波形ファイル 波形種別



2015/05/29 10:00:00 口永良部島 ch:11586 新岳北凍山麓 上下成分 100Hz 収録系2 0.3125mkline 振幅縮小 振幅拡大 更新 前イベント 次イベント 前時間 次時間

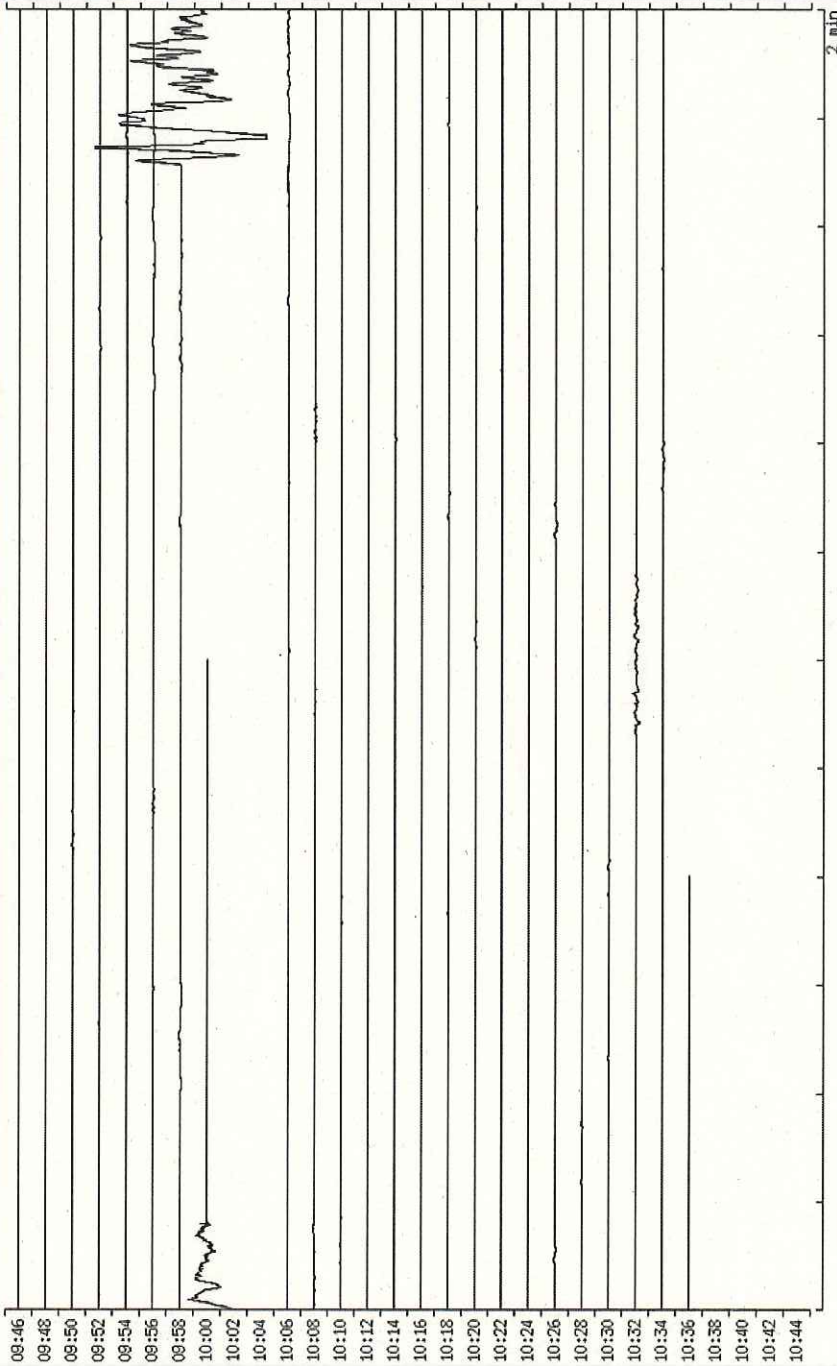
ファイル 表示 パラメータ 波形ファイル 波形種別



2015/05/29 09:30:00 口永良部島 ch:41464 自動検測 波形チェック 前イベント 上下成分 短周期速度 100Hz 自動系 0.625ms/line 振幅拡大 振幅縮小 前時間 次時間

検測モニター offhow2tk01 (vowsv2tk02) vohow2tk02 2015/05/29 10:05:42 [東京]

ファイル 表示 パラメータ 波形ファイル 波形種別



2015/05/29 10:00:00 口永良部島 ch:11597 新潟北風山崎 相当分なし 空振 100Hz 収録系2 100% 前部分 次部分

手動検測 波形チェック 前イベント 次イベント 更新 振幅拡大 振幅縮小

Host: waha2tk02 DispLag: vavisv2tk02

Fri May 29 10:37:35 2015

ローカル

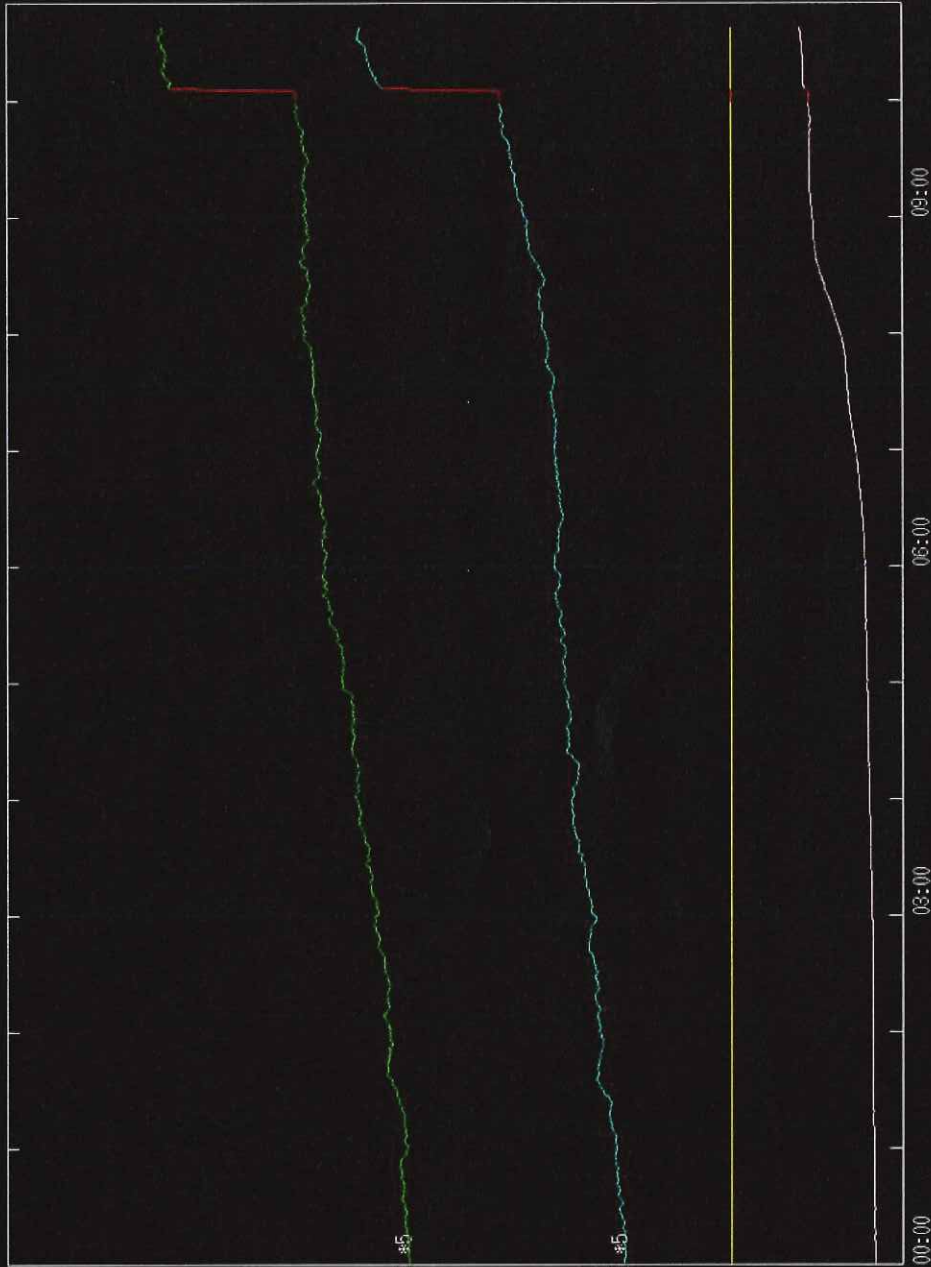
ファイル(E) パラメータ(P) 画面(O) 期間(I) 次ページ(N) 前ページ(B) グループ(G)

ページ: 6 / 7

### 口 永良部島傾斜 (分値)

2015/05/29 00:00 -- 2015/05/29 10:50

EXP. NEup | 1.0E-07 radian  
0.1 degree  
10.0 degree



新岳北東山麓傾斜補正 #5

新岳北東山麓傾斜補正 #5

新岳北東山麓傾斜中

新岳北東山麓傾斜上

火山名 口永良部島 噴火警報（居住地域）

平成27年5月29日10時07分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

\*\*（見出し）\*\*

<口永良部島に噴火警報（噴火警戒レベル5、避難）を発表>

対象とする居住地域では厳重な警戒（避難等の対応）をしてください。

<噴火警戒レベルを3（入山規制）から5（避難）に引上げ>

\*\*（本文）\*\*

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

新岳では、本日（29日）09時59分に爆発的噴火が発生しました。この噴火に伴い、火砕流が発生し、海岸まで達しました。

火砕流の到達が予想される屋久島町口永良部島居住地域では厳重な警戒（避難等の対応）をしてください。

2. 対象市町村等

以下の市町村では、当該居住地域で避難などの厳重な警戒をしてください。

鹿児島県：屋久島町

3. 防災上の警戒事項等

火砕流の流下が切迫している居住地域では、厳重な警戒（避難等の対応）をしてください。

屋久島町の避難等の指示に従ってください。

<噴火警戒レベルを3（入山規制）から5（避難）に引上げ>

\*\*（参考：噴火警戒レベルの説明）\*\*

【レベル5（避難）】：危険な居住地域からの避難等が必要。

【レベル4（避難準備）】：警戒が必要な居住地域での避難の準備、災害時要援護者の避難等が必要。

【レベル3（入山規制）】：登山禁止や入山規制等危険な地域への立入規制等。状況に応じて災害時要援護者の避難準備等。

【レベル2（火口周辺規制）】：火口周辺への立入規制等。

【レベル1（平常）】：状況に応じて火口内への立入規制等。

（注：避難や規制の対象地域は、地域の状況や火山活動状況により異なる）

なお、（平常）のキーワードについては、平成27年5月18日から（活火山であることに留意）に変更しました。システム改修により情報文に反映されるまでの間は、読み替えで対応いただきますようお願いいたします。



火山名 口永良部島 火山の状況に関する解説情報 第44号

平成27年5月29日10時40分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

\*\* (本文) \*\*

<噴火警報（噴火警戒レベル5、避難）が継続>

【臨時】

1. 火山活動の状況

口永良部島新岳では、本日（29日）09時59分に爆発的噴火が発生し、火砕流が新岳の南西側から北西側（向江浜地区）にかけての海岸まで達したのを確認しました。噴煙は火口縁上9000メートル以上まで上がり、火口周辺に噴石が飛散しているのを確認しました。

今後も、爆発力が強い噴火や規模の大きな噴火が発生する可能性があります。

火砕流の到達が予想される屋久島町口永良部島居住地域では厳重な警戒（避難等の対応）をしてください。

2. 防災上の警戒事項等

火砕流の流下が切迫している居住地域では、厳重な警戒（避難等の対応）をしてください。

屋久島町の避難等の指示に従ってください。

火山活動の状況に変化があった場合には、随時お知らせします。

<噴火警報（噴火警戒レベル5、避難）が継続>

## 口永良部島の火山活動解説資料

福岡管区气象台  
火山監視・情報センター  
鹿児島地方气象台

<噴火警戒レベル3（入山規制）を噴火警戒レベル5（避難）>に上げました  
口永良部島で、本日（29日）09時59分に爆発的噴火が発生しました。この噴火に伴い、火砕流が発生し、海岸まで達しました。

火砕流の到達が予想される屋久島町口永良部島居住地域では厳重な警戒（避難等の対応）をしてください。

### 【防災上の警戒事項等】

今後も同程度の噴火が発生する可能性がありますので、噴火に伴う火砕流および噴石に厳重に警戒してください。

屋久島町の指示に従って適切に行動してください。

### ○ 活動概況

#### ・地震や微動の発生状況（図1～3）

口永良部島岳では、本日（29日）09時59分に爆発的噴火が発生し、噴煙が火口縁上9,000m以上まで上がりました。また、この噴火に伴い火砕流が発生し、新岳火口の南西側から北西側（向江浜地区）方向の海岸まで達しました。

---

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、東京大学および屋久島町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平26情使、第578号)。



図1 口永良部島 噴火の状況（5月29日10時00分、本村西遠望カメラによる）  
本日（29日）09時59分に爆発的噴火が発生しました。

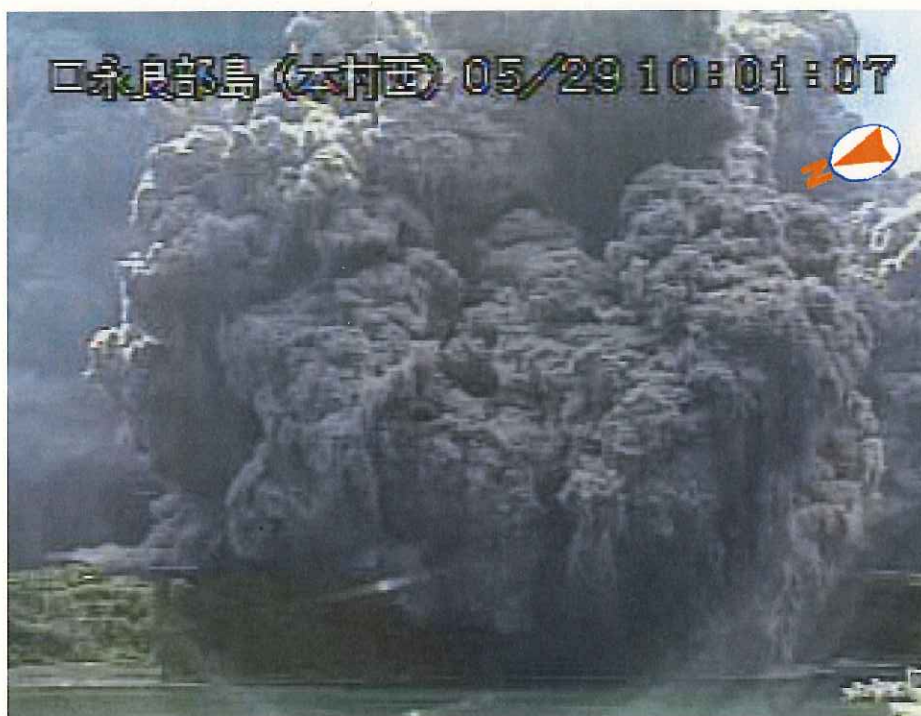


図2 口永良部島 噴火の状況（5月29日10時01分、本村西遠望カメラによる）  
本日（29日）09時59分に発生した噴火に伴い火砕流が発生し、新岳火口の南西側から北西側（向江浜地区）方向の海岸まで達しました。



図3 口永良部島 噴火の状況 (5月29日10時03分、永田遠望カメラによる)

本日 (29日) 09時59分に発生した噴火では、噴煙が火口上9,000m以上まで上がりました。

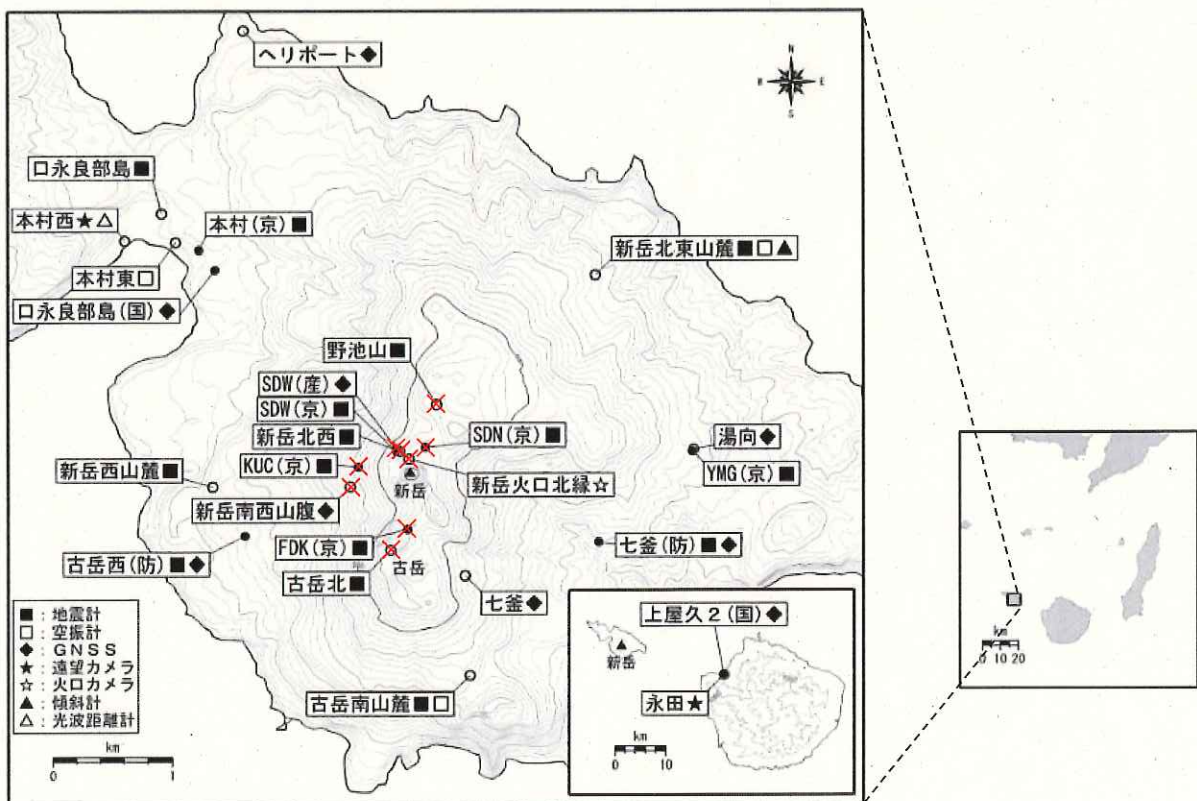


図4 口永良部島 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
(国) : 国土地理院、(京) : 京都大学、(防) 防災科学技術研究所、(産) : 産業技術総合研究所  
山頂周辺の観測点 (図中赤×印) は、8月3日の噴火により障害となっています。

# 口永良部島の噴火警戒レベル

— 火山災害から身を守るために —

## 噴火警報等で発表する 噴火警戒レベル

- 噴火警戒レベルとは、噴火時などに危険な範囲や必要な防災対応を、レベル1から5の5段階に区分したものです。
- 各レベルには、火山の周辺住民、観光客、登山者等のとるべき防災行動が一目で分かるキーワードを設定しています（レベル5は「避難」、レベル4は「避難準備」、レベル3は「入山規制」、レベル2は「火口周辺規制」、レベル1は「活火山であることに留意」）。
- 対象となる火山が噴火警戒レベルのどの段階にあるかは、噴火警報等でお伝えします。



口永良部島 南側上空から撮影 第十管区海上保安部の協力による

### 口永良部島 噴火警戒レベルに対応した規制範囲



この図は、国土地理院発行の2万5千分の1地図画像、数値地図50mメッシュ（標高）およびカシミール3Dを使用して作成しています。

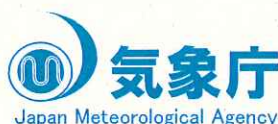
● 噴火警戒レベルに応じて下記のような防災対応が必要になります。

- レベル5（避難）：危険な居住地域からの避難
- レベル4（避難準備）：警戒が必要な居住地域での避難準備。要援護者は避難等。
- レベル3（入山規制）：火口から概ね2km以内の立入禁止 ○ の範囲内
- レベル2（火口周辺規制）：火口から概ね1km以内の立入禁止 ○ の範囲内
- レベル1（活火山であることに留意）：状況に応じて火口内への立入規制等。

- : 一般道
- : 登山道
- : レベル3の規制箇所
- : 新岳火口
- : レベル2の規制箇所
- : 居住区域

■ この図は口永良部島防災情報図（鹿児島県地域防災計画）を元に屋久島町等と調整して作成しています。

■ 各レベルにおける具体的な規制範囲等については、地域防災計画等で定められていますので、詳細については屋久島町にお問い合わせください。



問い合わせ先

福岡管区気象台火山監視・情報センター  
 TEL: 092-725-3606 <http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>  
 ■ 鹿児島地方気象台 観測予報課 TEL: 099-250-9916  
<http://www.jma-net.go.jp/kagoshima/>



# 口永良部島の噴火警戒レベル

予報警報	対象範囲	レベル(キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
<b>噴火警報</b>	居住地域及びそれより火口側	<b>5</b> (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	●噴火が発生し、噴石や火砕流、溶岩流が居住地域に到達、あるいはそのような噴火の発生が切迫している。 <b>過去事例</b> 1966年11月：噴石が火口から約3.5kmまで飛散
		<b>4</b> (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での避難の準備、災害時要援護者の避難等が必要。	●噴火が拡大し、噴石や火砕流、溶岩流が居住地域に到達することが予想される。 <b>過去事例</b> 1931年4月：新岳火口から約2kmまで噴石飛散 1841年8月：新岳火口から約2kmまで噴石飛散
<b>火口周辺警報</b>	火口から居住地域近くまで	<b>3</b> (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常的生活。状況に応じて災害時要援護者の避難準備等。登山禁止や入山規制等危険な地域への立入規制等。	●噴石が火口から概ね2km以内に飛散、あるいは小噴火の拡大等により飛散が予想される。 <b>過去事例</b> 1968年12月～1969年3月：噴石飛散 1945年11月、1933年12月：新岳で割れ目噴火、火口から約1.9kmまで噴石飛散
	火口周辺	<b>2</b> (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常的生活。火口周辺への立入規制等。	●小噴火が発生し、火口から概ね1km以内に噴石飛散。 <b>1980年9月の噴火事例</b> 新岳で割れ目噴火、火口から約700mまで噴石飛散 ●小噴火の発生が予想される。 <b>過去事例</b> 2006年9月の山体膨張 1996年3月、1999年8月、2000年1月、2003年2～4月の火山性地震増加 1932年7月：噴煙活動活発化
<b>噴火予報</b>	火口内等	<b>1</b> (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	状況に応じて火口内への立入規制等。	●火山活動は静穏、状況により火口内に影響する程度の噴出の可能性あり。 <b>過去事例</b> 2003年11月～2004年1月の状態

注) ここでいう噴石とは、主として風の影響を受けずに飛散する大きさのものとする。

各レベルにおける具体的な規制範囲等については地域防災計画等で定められています。各市町村にお問い合わせください。

■最新の噴火警戒レベルは気象庁HPでもご覧になれます。

<http://www.jma.go.jp/jp/volcano/>

# 火山名 口永良部島 降灰予報 (速報)

平成27年05月29日10時09分  
気象庁地震火山部発表

29日09時59分に口永良部島(新岳)で噴火が発生し、噴煙は火口縁上9000mを超えています。火口から南東方向に火山灰が流され、1時間以内に屋久島町では多量の降灰があり、降灰は鹿児島県屋久島町まで予想されます。また、火口から南東方向およそ10kmまでの範囲では、小さな噴石が風に流されて降るおそれがあります。

1時間以内に予想される降灰量は各市町村の多いところでおおりのです。

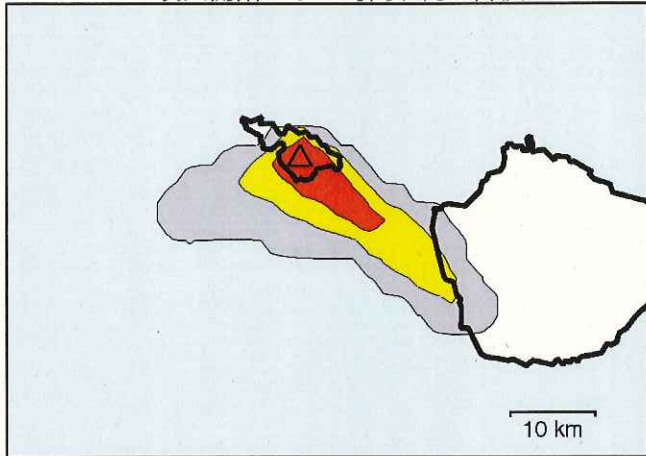
多量 鹿児島県：屋久島町

多量の降灰が予想される範囲内では、不要な外出を控えてください。  
やや多量の降灰が予想される範囲内では、傘やマスク等で防灰対策をして、徐行運転を心掛けてください。  
小さな噴石の落下が予想される範囲内では、屋内や頑丈な屋根の下などに移動してください。

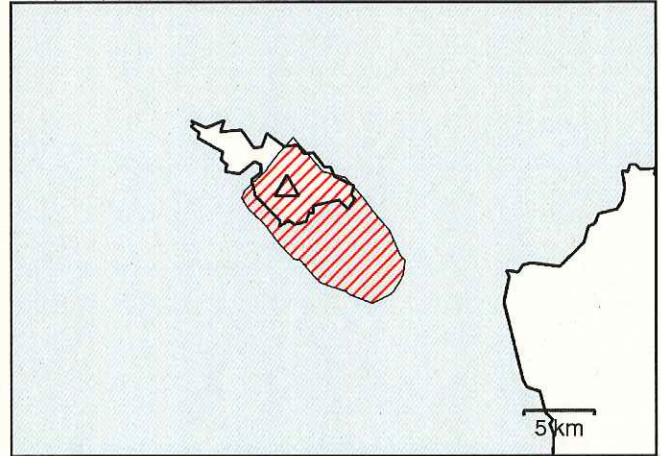
\*\* (参考：降灰量階級 名称・厚さ・キーワードなど) \*\*

- 【多量】 【1mm以上】 火山灰がまきあげられ視界不良となり地面は完全に覆われる【外出を控える】
- 【やや多量】 【0.1 - 1mm】 火山灰が降っているのが明らかにわかり路面表示は見えにくくなる【注意】
- 【少量】 【0.1mm未満】 火山灰が降っているのがようやくわかり地面にうっすら積もる

噴火開始から1時間以内の降灰量



噴火開始から1時間以内の小さな噴石の落下範囲



- : 多量の降灰
- : やや多量の降灰
- : 少量の降灰
- 太線 : 降灰が予想される市町村

- ▨ : 小さな噴石の落下範囲

# 火山名 口永良部島 降灰予報（詳細）

平成27年05月29日10時25分  
気象庁地震火山部発表

29日09時59分に口永良部島（新岳）で噴火が発生し、噴煙は火口縁上9000mを超えています。火口から南東方向に火山灰が流され、29日16時までに屋久島町では多量の降灰があり、降灰は鹿児島県屋久島町まで予想されます。

29日16時までに予想される降灰量は各市町村の多いところで次のとおりです。  
多量 鹿児島県：屋久島町

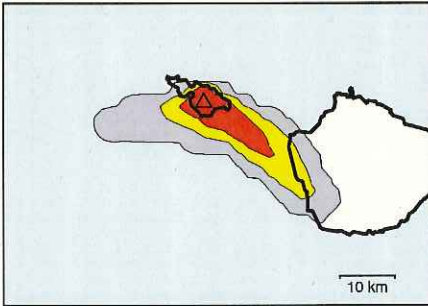
予想される各市町村の降灰開始時刻は次のとおりです。  
11時まで 鹿児島県：屋久島町

多量の降灰が予想される範囲内では、不要な外出や車の運転を控えてください。  
やや多量の降灰が予想される範囲内では、傘やマスク等で防灰対策をして、徐行運転を心掛けてください。

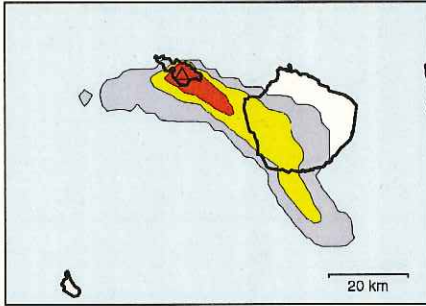
\*\*（参考：降灰量階級 名称・厚さ・キーワードなど）\*\*

- 【多量】 【1mm以上】 火山灰がまきあげられ視界不良となり地面は完全に覆われる【外出を控える】
- 【やや多量】 【0.1 - 1mm】 火山灰が降っているのが明らかにわかり路面表示は見えにくくなる【注意】
- 【少量】 【0.1mm未満】 火山灰が降っているのがようやくわかり地面にうっすら積もる

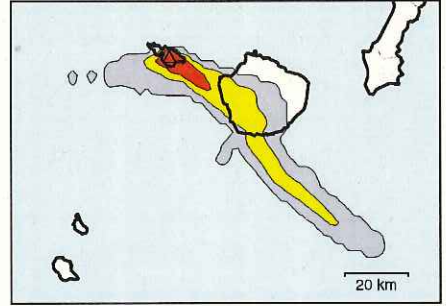
噴火開始から11時までの降灰量



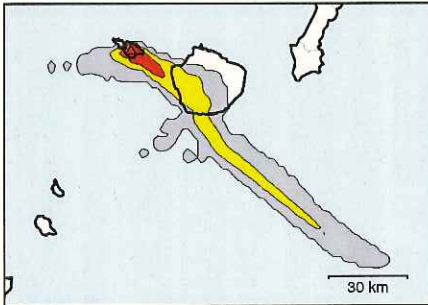
噴火開始から12時までの降灰量



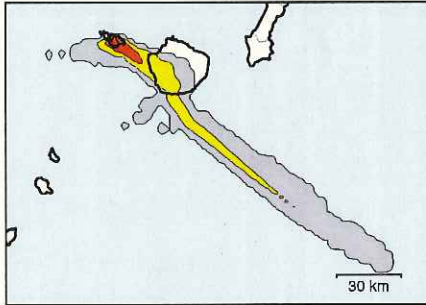
噴火開始から13時までの降灰量



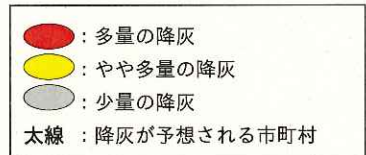
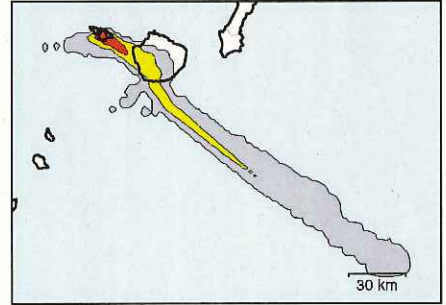
噴火開始から14時までの降灰量



噴火開始から15時までの降灰量



噴火開始から16時までの降灰量





# 火山名 口永良部島 降灰予報（詳細）

平成27年05月29日11時00分  
気象庁地震火山部発表

29日09時59分に口永良部島（新岳）で発生した噴火は、29日10時29分現在も継続し、噴煙は火口縁上600mまで上がっています。15時まで現在の噴火が継続した場合、29日16時までに屋久島町では多量の降灰があり、降灰は鹿児島県屋久島町まで予想されます。

29日16時までに予想される降灰量は各市町村の多いところで次のとおりです。

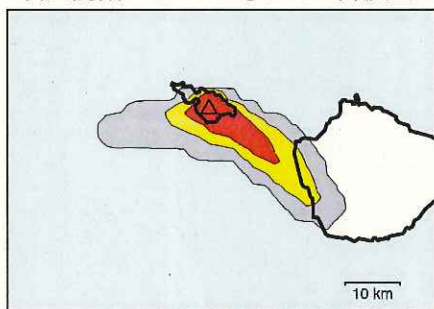
多量 鹿児島県：屋久島町

多量の降灰が予想される範囲内では、不要な外出や車の運転を控えてください。  
やや多量の降灰が予想される範囲内では、傘やマスク等で防灰対策をして、徐行運転を心掛けてください。

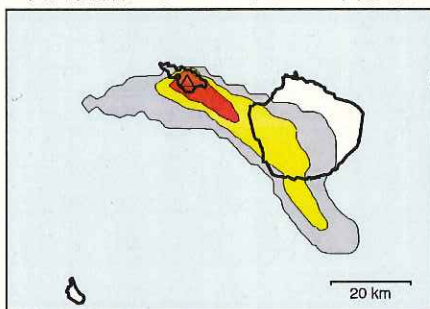
\*\*（参考：降灰量階級 名称・厚さ・キーワードなど）\*\*

- 【多量】 【1mm以上】 火山灰がまきあげられ視界不良となり地面は完全に覆われる【外出を控える】
- 【やや多量】 【0.1 - 1mm】 火山灰が降っているのが明らかにわかり路面表示は見えにくくなる【注意】
- 【少量】 【0.1mm未満】 火山灰が降っているのがようやくわかり地面にうっすら積もる

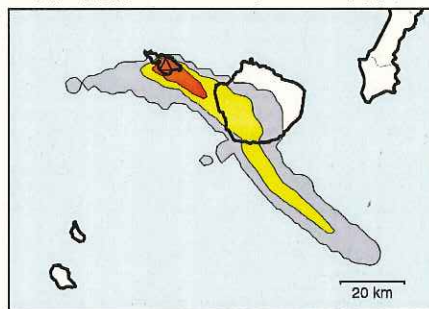
噴火開始から11時までの降灰量



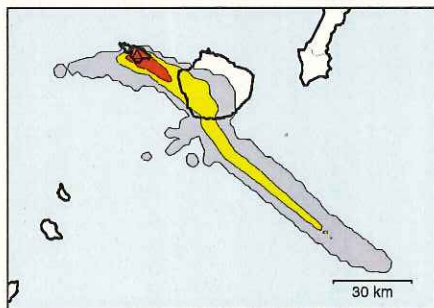
噴火開始から12時までの降灰量



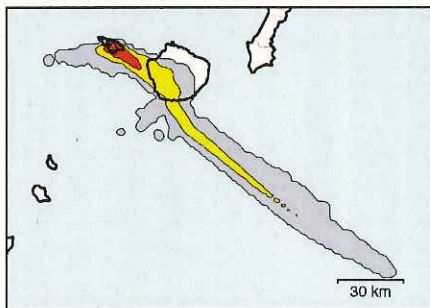
噴火開始から13時までの降灰量



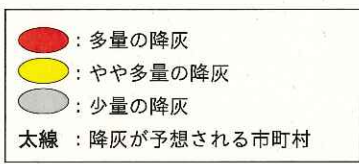
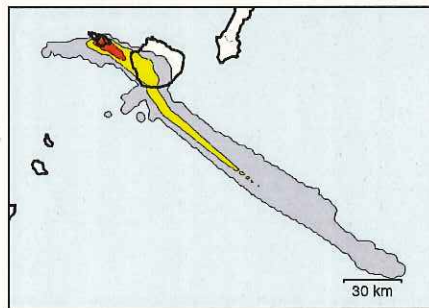
噴火開始から14時までの降灰量



噴火開始から15時までの降灰量



噴火開始から16時までの降灰量



# 気象情報

気 象 庁  
平成 27 年 5 月 29 日 15 時現在

■警報・注意報(屋久島町)

なし

■気象概況

今夜 29 日は、高気圧に覆われて晴れる見込み。

明日 30 日は、梅雨前線や湿った空気の影響を受けるため、くもりで次第に雨となり、雷を伴うところがある見込み。

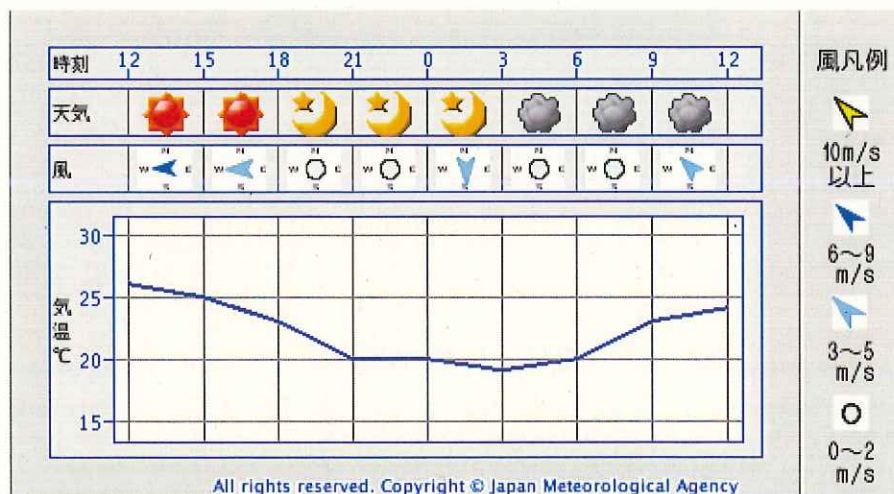
○15 時現在

アメダス(屋久島) 東南東 2.9m/s 気温 24.9℃ 時間降水量 0.0 ミリ 天気 晴れ

■天気予報

種子島地方・屋久島地方		降水確率	気温予報
<b>今日29日</b>  東の風 晴れ 波 2メートル 後 1.5メートル	00-06 --% 06-12 --% 12-18 10% 18-24 10%	種子島 日中の最高 27度	
<b>明日30日</b>  南東の風 後 南の風 くもり 夜 雨 所により 雷 を伴う 波 1.5メートル	00-06 10% 06-12 20% 12-18 40% 18-24 50%	種子島 朝の最低 日中の最高 19度 26度	
<b>明後日31日</b>  南西の風 やや強く 後 北東の 風 くもり 時々 雨 波 2メートル 後 1.5メートル			

種子島・屋久島地方  
【気温:種子島】



# 口永良部島の噴火に係る被害状況等について（第8報）

3

（これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。）

平成27年5月29日（金）15時20分

消防庁災害対策本部

※下線部は前回からの変更箇所

## 1 火山の状況（気象庁情報）

- ・5月29日 9時59分頃、爆発的噴火が発生した。
- ・この噴火に伴い、火砕流が発生し、海岸まで達した。
- ・気象庁は、5月29日10時07分、噴火警戒レベルを3（入山規制）から、5（避難）に引上げ。

## 2 被害の状況

### （1）人的被害

全島民無事を確認（屋久島町役場からの情報）

前額部部分熱傷 1名（自力歩行可能）（屋久島町役場からの情報）

体調不良 1名

※上記2名については、鹿児島県防災ヘリにて搬送

### （2）物的被害

確認中

### （3）その他被害

確認中

## 3 島外避難の状況

島内住民及び滞在者合計136名

【内訳：口永良部島内（地区別）】

川西	35名
川東	49名
前田	15名
向江浜	1名
新村	2名
田代、寝待	6名
湯向	9名
島外者	19名

・町営フェリー等で避難予定 126名

・海上保安庁船舶で避難予定 7名

・鹿児島県防災ヘリで避難済 3名

（火傷1名、体調不良1名、付添1名）

## 4 地方公共団体における災害対策本部等の設置状況

鹿児島県 10時07分 災害対策本部設置

屋久島町 10時07分 災害対策本部設置（前年から継続）

## 5 地方公共団体との連絡状況

鹿児島県と連絡がとれている

屋久島町と連絡がとれている

熊本地区消防組合消防本部と連絡がとれている

## 6 地方公共団体の対応

10時15分 屋久島町で口永良部島全島に対し島内避難所への避難勧告発令

10時20分 避難指示に切替

平成 27 年 5 月 29 日 15:10 現在  
海上保安庁

## 口永良部島噴火について

### 1. 時系列

- 0959 発災
- 1007 官邸対策室設置、本庁対策本部設置、10本部対策本部設置
- 1022 通行船舶への状況提供開始
- 1034 航行警報発令
- 1100 関係省庁会議予定（環境防災課長対応）
- 1123 MA（固定翼機）現着
- 1150 「拓洋」現場到着、搭載艇降下準備
- 1158 MH（回転翼機）番屋ヶ峰着
- 1203 機動救難士2名降下
- 1225 「拓洋」搭載艇出発
- 1232 「さつま」湯向港沖合着（鹿児島県から救助要請のあった8名を搭載艇にて「さつま」へ輸送予定）
- 1232 「拓洋」搭載艇本村港着
- 1249 「さつま」搭載艇が湯向集落着  
救助要請のあった8名のうち、3名と会合（残り5名については現在湯向港向け移動中）
- 1252 負傷者2名（内訳：火山灰を被り火傷1名、心臓病1名）及び付添者1名がヘリポートにて県防災ヘリに搬送
- 1310 特殊救難隊鹿児島航空基地着
- 1323 「さつま」搭載艇が救助要請のあった8名のうち、更に3名と会合（残り2名については捜索中）
- 1330 「さつま」搭載艇が救助要請のあった8名のうち、更に1名と会合（残り1名はすでに番屋ヶ峰避難所に避難しているとの情報あり）
- 1344 「さつま」搭載艇、要救助者4名を搬送開始
- 1352 要救助者4名「さつま」乗船
- 1410 「とから」本村港沖合着
- 1449 航行警報（第2報）発令
- 1452 要救助者2名（合計6名）「さつま」乗船  
（残り1名は、自身所有の船にて屋久島に避難するとのこと）  
「さつま」に乗船した6名については、MH（回転翼機）にて屋久島空港へ搬送予定
- 1500 「明洋」湯向着

### 2. 当庁対応勢力

MA (固定翼機) × 1

MH (回転翼機) × 3

さつま 1232 湯向冲着 (150名乗船可能)

拓洋 1150 本村沖合着 (168名乗船可能)

(※避難住民等の搬送を実施するフェリーの入港支援)

こしき (機動救難士5名、消防士7名、鹿児島県警22名乗船) 1210 出港

とから 1410 本村着

くさかき 1800 屋久島着予定 (1310、日赤職員7名、救援物資を載せ鹿児島港出港)

特救隊(1隊) 1310 鹿児島基地着

明洋 1500 湯向着 (搭載可能人員25名)

### 3. その他

気象：南の風6m、晴れ(1315現在)

航空機により噴煙の写真撮影予定

県庁にリエゾン派遣、情報収集中

住民等の状況：計141名(1045現在)

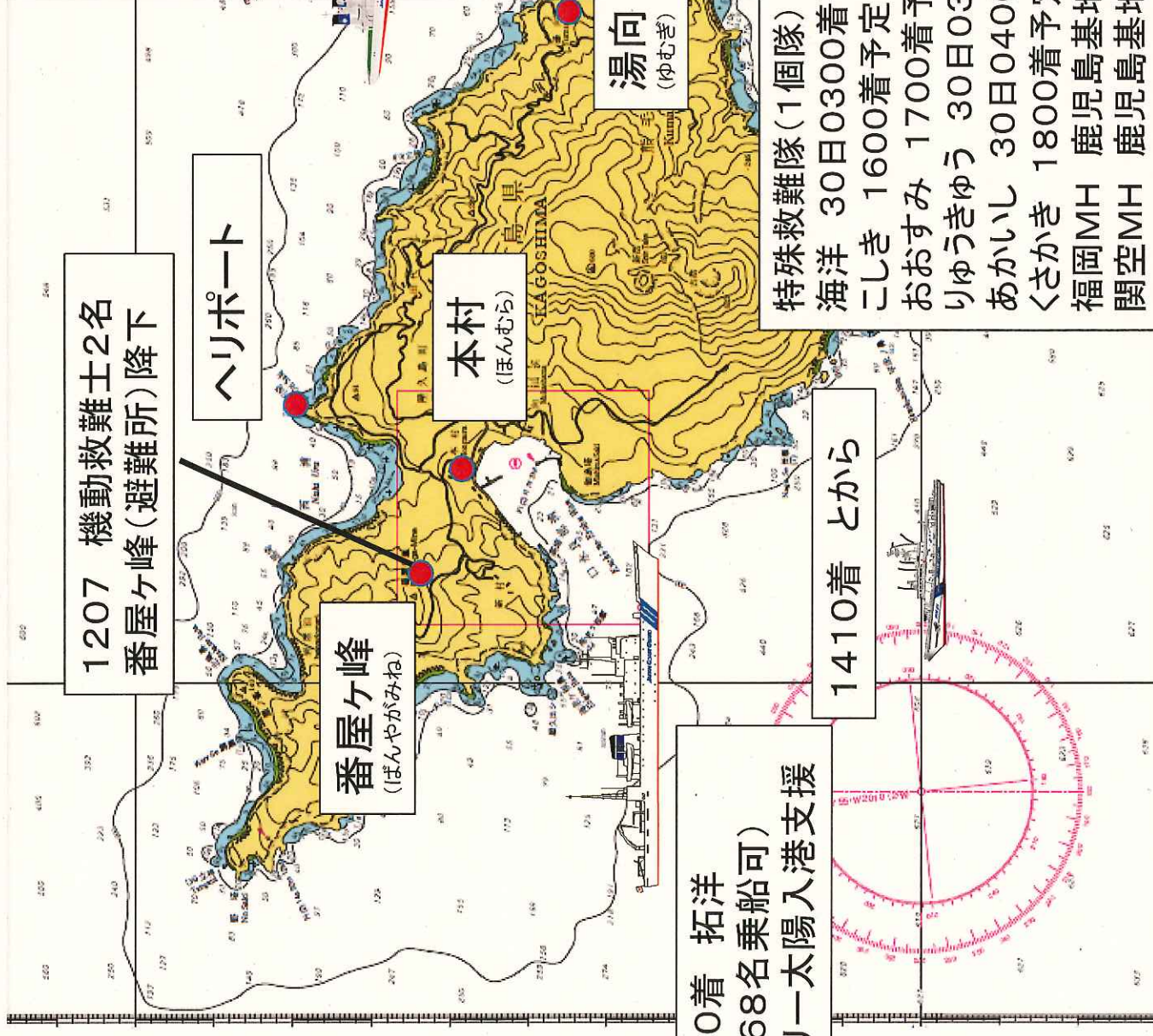
(内訳： 島民130名(78世帯)、来島者5名、行政関係者6名)



1530現在

NAVY - IVU - ERANBU QILIRIA  
 Scale of the Hydrographic and Geographic  
 Department, 1:10,000

深 度	
人形浮標 (M L W 5)	2-2m
小形浮標 (M L W 5)	1-2m
小形浮標 (M L W 5)	1-2m
小形浮標 (M L W 5)	1-2m
浮標 (M L W 5)	0-4m
浮標 (M L W 5)	1-2m



特殊救難隊(1個隊) 1310 鹿児島空港着  
 海洋 30日0300着予定  
 こしき 1600着予定(警察22名、消防7名、機動救難士5名)  
 おおすみ 1700着予定  
 りゆうきゆう 30日0300着予定  
 あかいし 30日0400着予定  
 くさかき 1800着予定(日赤職員同乗・日用品搭載)  
 福岡MH 鹿児島基地へ(機動救難士2名同乗)  
 関空MH 鹿児島基地へ(機動救難士2名同乗)

**口永良部島における噴火に係る災害派遣について**  
(15時30分現在)

**1. 災害派遣の概要**

- (1) 要請日時 平成27年5月29日(金) 10時40分  
 (2) 要請元 鹿児島県知事  
 (3) 要請先 陸上自衛隊第8師団長(北熊本)  
 (4) 要請の概要 航空機による避難支援・情報収集  
 (5) 発生場所 鹿児島県くちのえらぶじま口永良部島

**2. 災害派遣までの経緯**

平成27年5月29日(金)、口永良部島で噴火が発生、同日10時40分、鹿児島県知事から陸上自衛隊第8師団長に対し、航空機による避難支援・情報収集に係る災害派遣要請があった。

**3. 防衛省・自衛隊の主な対応**

- 10時07分 運用企画局に防衛省災害対策室を設置(長:運用企画局長)  
 10時15分 F-4(新田原)×2機が基地を離陸。以降、情報収集活動を実施。  
 10時20分 防衛大臣指示。  
 ○ 自治体及び関係省庁と緊密に連携し、災害派遣活動に万全を期すこと。  
 ○ 被害の状況に応じ、適切な対応を実施すること。  
 10時40分 鹿児島県知事から陸上自衛隊第8師団長に対して**災害派遣要請**。  
 10時48分 P-3C×1機が基地を離陸。以降、情報収集活動実施。  
 11時12分 UH-60(目達原)×1機、UH-1(目達原)×2機が駐屯地を離陸。以降、情報収集活動実施。  
 11時15分 UH-60(高遊原)×1機が離陸。以降、避難支援及び情報収集活動を実施。(12時43分現地到着後、屋久島で待機中)  
 11時23分 UH-60(鹿屋)×2機が基地を離陸。以降、情報収集活動実施。  
 (11時45分、47分 UH-60(鹿屋)×2機が現地到着。以降、情報収集活動実施。)  
 12時18分 CH-47(高遊原)×1機が駐屯地を離陸(種子島で避難支援予定のため待機中)。以降、避難支援予定。  
 12時30分 RF-4(百里)×1機が基地を離陸。以降、情報収集活動実施。  
 12時45分 RF-4(百里)×1機が基地を離陸。以降、情報収集活動実施。  
 12時52分 CH-47(高遊原)×1機が駐屯地を離陸(国分で避難支援予定のため待機中)。以降、避難支援予定。  
 14時15分 政府調査団による上空視察の支援のため、UH-60が鹿児島空港を離陸。

くちのえらぶじま

## 口永良部島の火山活動についての国土交通省の対応状況

## 1. 噴火の概要

○発生日時 : 平成 27 年 5 月 29 日 9:59

火砕流が噴火口から南西側および北西側の海岸に到達

## 2. 島民の避難状況 (14:00 時点)

○町営のフェリー太陽ほんむらで 14:30 本村港に着岸。

※番屋ヶ峰に集まった約 120 人の住民は本村港に移動中。

○海上保安庁「さつま」の搭載艇ゆむぎが 12:51 湯向集落着

※救助要請のあった 8 名のうち 3 名と会合 (残り 5 名は調査中)。

## 3. 国土交通省の対応状況

○防災ヘリくちのえらぶじま: 口永良部島に 12:50 到着し、状況調査実施

※四国地整防災ヘリも待機中

○リエゾン: 鹿児島県庁に 3 名派遣 (12:00 到着)

※鹿児島県かごしまこくどうじむしょ国道事務所 2 名、鹿児島港かごしまこうわんくうこうじむしょ湾空港事務所 1 名屋久島町やくしまちょうへ 3 名派遣 (15:10 到着予定)※鹿児島県かごしまこくどうじむしょ国道事務所 2 名、鹿児島港かごしまこうわんくうこうじむしょ湾空港事務所 1 名○海上保安庁: 巡視船艇じゅんしせんてい「さつま」が 12:20 に到着測量船そくりようせん「拓洋」が 11:50 に本村港ほんむらこう到着海保ヘリが 11:58 に番屋ヶ峰ばんやがみねひなんじよ避難所に着陸

## 4. 初動対応・体制

(5 月 29 日)

10:07 非常体制 (気象庁)

10:08 非常体制 (国土交通省、九州地方整備局、九州運輸局)

12:10 第 1 回幹部会議 (大臣指示)

14:50 第 2 回対策本部会議



<b>災害情報</b> 平成27年5月29日 14:00現在 <b>国土交通省</b>
---

## 口永良部島の噴火について(第1報)

### 1. 本省及び地方支分部局の体制について

国土交通本省 5月29日 10:08 非常体制「当該災害に関する対策本部設置」

九州地方整備局 5月29日 10:08 非常体制 九州運輸局 5月29日 10:08 警戒体制

国土地理委員 5月29日 10:08 非常体制 気象庁本庁 5月29日 10:07 警戒体制

### 2. 噴火の概要

○新岳では、本日(29日)09時59分に爆発的噴火が発生しました。

○この噴火により、噴煙が火口縁上9,000m以上まで上がりました。また、火砕流が発生し、新岳火口の南西側から北西側(向江浜地区)方向の海岸まで達しました。

### 3. 気象の見通し

○種子島・屋久島地方では、29日は晴れた状態が続き、陸上では3~4メートル、海上は10メートル前後の東の風が続く見込み。波の高さは、2後1.5メートルの見込み。

### 4. 国土交通省の対応

・調査観測兼清掃船「海煌(かいこう)」出港

九州本島との人員等の輸送に備え、熊本港湾・空港整備事務所の「海煌」が八代港を出港

13:30 八代港出港

23:00 鹿児島港入港予定

乗船可能人員 12名(乗務員除く)

・鹿児島運輸支局よりリエゾン2名を鹿児島県庁に派遣。

・5/29 11:50 口永良部島関係局長

#### 【フェリー太陽関連】

・屋久島町営のフェリー太陽が口永良部島本村港付近に13時20分着。

本村港への接岸は14時30分予定

・13時30分より島民は車で番屋ヶ峰から本村港へ移動開始

14時30分に本村港に到着予定

15時00頃を目処に、本村港よりフェリー太陽出港予定

17時00分頃屋久島到着予定

・口永良部島から屋久島へは所要1時間40分

#### ○リエゾン(情報連絡員)派遣

・九州地方整備局より1県1町へ、3人派遣(5/29)。

(単位:人)

派遣場所	月日	5 29	合計
鹿児島県		3	3
合計		3	3

### OTEC-FORCEの派遣

- 九州地方整備局より、災害対策用ヘリコプターによる上空からの被災状況調査のため、口之永良部島へ4人派遣(5/29)。

(単位:人)

派遣地	月日	5/29	合計
九州地整		4	4
合計		4	4

### 5. 海上保安庁の対応

- 1249 「さつま」搭載艇が湯向集落着  
救助要請のあった8名のうち、3名と会合（残り5名については現在湯向港向け移動中）
- 1252 負傷者2名（内訳：火山灰を被り火傷1名、心臓病1名）及び付添者1名がヘリポートにて  
県防災ヘリに搬送
- 1310 特殊救難隊鹿児島基地航空基地着
- 1323 「さつま」搭載艇が救助要請のあった8名のうち、更に3名と会合（残り2名については捜索中）
- 1330 「さつま」搭載艇が救助要請のあった8名のうち、更に1名と会合（残り1名についてはすでに番屋ヶ峰避難所に避難しているとの情報あり）  
(対応勢力)
- MA（固定翼機）×1
- MH（回転翼機）×1（機動救難士2名同乗、ヘリテレ伝送中）
- さつま 1232湯向冲着（150名乗船可能）
- 拓洋 1150本村沖合着（168名乗船可能）  
(※避難住民等の搬送を実施するフェリーの入港支援)
- こしき（機動救難士5名、消防士7名、鹿児島県警22名乗船）1210出港
- とから 1330現着予定（屋久島で屋久島町職員を乗船させ、現場へ回航）
- 特急隊（1隊）1310鹿児島基地着
- 明洋 1500現着予定（搭載可能人員25名）

### 6. 所管施設等の状況

- 河川関係
  - ・現時点で被害情報なし
- ダム関係
  - ・島内にダムがないため、被災報告ダムなし
- 道路関係
  - 本村と湯向を結ぶ町道は噴石散乱のため通行不能との情報
  - 本村と番屋ヶ峰を結ぶ町道は通行可能との情報
- 住宅関係
  - ・現時点で被害情報なし
- 鉄道関係
  - 対象施設なし
- 自動車関係
  - ・被害情報なし
- 航空関係
  - ・現時点において被害情報なし

## ○海事関係

- ・現時点において被害情報なし

## ○下水道関係

- ・口永良部島においては、下水道施設がないことを確認済み。

## ○港湾関係

- ・現時点において被害情報なし

## ○物流関係

- ・現時点において被害情報なし

## ○観光関係

- ・現時点において被害情報なし

## ○官庁施設

- ・現時点で被害無し

## ○公園関係、宅地関係等

- ・現時点で被害情報なし

問合先:水管理・国土保全局防災課災害対策室 池本 代 表:03-5253-8111 内線35-822 直 通:03-5253-8461
---

## 口永良部島の噴火状況等について

※これは速報値であり、数値等は今後も変わることがある。

平成 27 年 5 月 29 日  
15 時 45 分 現在  
内 閣 府

### 1. 火山活動の状況等

#### (1) 火山活動の状況（噴火警戒レベル 5）

- ・ 09 時 59 分 新岳で噴火
- ・ 10 時 07 分 気象庁、噴火警戒レベル 5（避難）発表  
新岳では、本日（29 日）09 時 59 分に爆発的噴火が発生しました。この噴火に伴い、火砕流が発生し、海岸まで達しました。
- ・ 10 時 40 分 気象庁、臨時の火山の状況に関する解説情報発表  
口永良部島新岳では、本日（29 日）09 時 59 分に爆発的噴火が発生し、火砕流が新岳の南西側から北西側（向江浜地区）にかけての海岸まで達したのを確認しました。噴煙は火口縁上 9,000 メートル以上まで上がり、火口周辺に噴石が飛散しているのを確認しました。

#### (2) 対象市町村等

- ・ 鹿児島県屋久島町

#### (3) 防災上の警戒事項

- ・ 火砕流の流下が切迫している居住地域では厳重な警戒（避難等の対応）が必要。

### 2. 被害状況（消防庁情報：5 月 29 日 14:00 現在）

#### (1) 人的被害

- 全島民無事を確認
- 前額部分熱傷 1 名（自力走行可能）
- 体調不良 1 名

#### (2) 物的被害

- 確認中

#### (3) その他被害

- 確認中

### 3. 避難状況（内閣府調べ：5月29日15:45現在）

10:15 屋久島町 口永良部全島に対し、島外への避難勧告  
（島内住民及び滞在者合計136名）

10:20 屋久島町 避難指示へ切り替え

《全島民》

131名

○番屋ヶ峰の避難所に一度避難した住民：121名

・本村港から町営フェリー（たいよう）で宮浦港（屋久島）に避難：人数確認中  
⇒15:42出港

・島に滞在する住民：5名（役場職員2名、警察2名、消防1名）（場所未定）

○北川ヘリポートから県防災ヘリで避難した住民：3名

○湯向地区：7名

うち、海保巡視艇「さつま」で宮浦港（屋久島）に避難：6名

自身の漁船で宮浦港（屋久島）に避難：1名

### 4. 政府の主な対応

#### (1) 対応時系列

・10時07分 官邸対策室、内閣府災害対策室設置

・10時15分 内閣総理大臣指示

1 早急な被害状況の把握

2 自治体との緊密な連携による避難等の安全確保措置の徹底

3 適時的確な情報の提供

屋久島町長から全島民に避難勧告発令

・10時20分 島外への避難指示に切替

・10時37分 緊急参集チーム協議開始

・10時40分 鹿児島県から災害派遣要請（避難に関するヘリコプター支援）

・10時42分 緊急参集チーム確認事項

1 地方自治体、関係機関等との連携を密にし、口永良部島の火山活動や被害状況を的確に把握するとともに、住民の安全を第一として、政府一体となった救援救助活動、避難支援等に全力を尽くす。

2 被害の状況に応じ、緊急消防援助隊、警察広域援助隊、自衛隊の災害派遣部隊、海上保安庁の救援救助部隊、災害派遣医療チーム（DMAT）等による被災地への広域応援を行い、災害応急対策に万全を期す。

3 火山活動について、引き続き、国や関係機関が一体となって嚴重な観測・監視・分析を行い、住民や地方自治体、関係機関に対する的確な情報提供を行う。

・11時00分 関係省庁災害対策会議開催

- ・ 11 時 30 分 気象庁記者会見
- ・ 11 時 38 分 内閣府情報先遣チーム派遣（内閣府職員 4 名、屋久島町）  
政府調査団派遣（団長：赤澤副大臣、鹿児島県庁）
- ・ 11 時 45 分 総理会見
- ・ 16 時 00 分 関係省庁災害対策会議（第 2 回）開催予定

## 5. 各府省庁の主な対応

### (1) 内閣府の対応

- ・ 情報対策室設置（5 月 23 日 10:45）
- ・ 関係省庁災害対策会議（山谷防災担当大臣、松本大臣政務官出席）開催
- ・ 政府調査団を鹿児島県庁及び屋久島町役場に派遣（団長：赤澤内閣府副大臣）
- ・ 鹿児島県熊毛郡屋久島町に対して災害救助法を適用（5 月 29 日 13:00）

### (2) 国土交通省の対応

- ・ 防災ヘリ：防災ヘリはるかぜ 11:06 福岡空港出発
- ・ リエゾン：鹿児島県庁に 3 名派遣
- ・ 11:50 にフェリー太陽が口之永良部島に向け出発したが、フェリー太陽の定員増員（100 名→150 名）の変更認可申請について、25 日付けで球種運輸局が認可済

### (3) 経済産業省の対応

- ・ 電力  
現時点で発電支障・供給支障ともになし。委託運転員（計 4 名）は、1 名は島外、3 名は島内の避難所にて定期中。発電所は自動運転中。（燃料も 10 日分残っている。）
- ・ ガス  
LP ガス：被害情報はなし。（島民に避難指示が発令されているため、消費者から被害連絡が入らない状況）  
都市ガス：設備なし
- ・ 高圧ガス・火薬類  
火薬類及び鉱山の施設はなし

### (4) 総務省の対応

- ・ 災害用伝言サービスの提供開始（11:16 災害用伝言ダイヤル及び災害用伝言板、11:19 災害用音声お届けサービス）
- ・ 通信関係  
被害なし
- ・ 放送関係  
被害なし
- ・ 郵政関係  
口之永良部郵便局（島内唯一）は 10 時頃窓口を休止し、従業員は避難。

#### (5) 海上保安庁の対応

- ・固定翼機、回転翼機、船舶を派遣

#### (6) 厚生労働省の対応

- ・医療施設 被害状況なし
- ・DMAT の活動状況

県は DMAT に派遣要請等を行っていないが、鹿児島市立病院の DMAT と鹿児島赤十字病院の救護班が自主待機中。

避難民の健康チェックのため、日赤救護班（医師 1 名、看護師 3 名、調整員 3 名）が海上保安庁巡視船で 13:00 に谷山港を出発し、16:00 に屋久島宮之浦港到着予定。

- ・水道の被害状況 全島避難のため被害状況は不明。

#### (7) 原子力規制庁の対応

- ・10:35 現在、川内原子力発電所（口之永良部島から約 150km）は異常なし。

### 6. 関係地方公共団体の対応等

#### (1) 鹿児島県の対応

- ・災害警戒本部を平成 26 年 8 月から設置中
- ・5 月 23 日 16 時 平成 27 年度第 1 回口之永良部島火山防災連絡会を開催  
（参加機関：鹿児島県、県警、海上保安庁、自衛隊、屋久島町、熊毛地区消防組合等）

#### (2) 屋久島町の対応

- ・災害対策本部を平成 26 年 8 月から設置中
- ・5 月 29 日 10:07 災害対策本部（前年から継続）
  - 10:15 避難勧告
  - 10:20 避難指示
  - 11:50 町営フェリー太陽、口永良部島（本村港）に向け出発
  - 13:30 町営フェリー太陽、本村港着  
番屋ヶ峰の避難住民（約 120 人）が本村港に向け移動開始

<<内閣府情報先遣チーム情報：5 月 29 日 15:00 現在>>

- ・陸上自衛隊 6 名が屋久島町の避難所において避難船を実施中